

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会第35回総会
記念座談会

みなさんといっしょに
かんがえます！

私たちの37年と これからの戦跡保存運動



日時 8月1日(土)
13:30～15:30

(総会後行います)

会場 瀬戸市文化センター

12 会議室 参加費 無料

80年続いた平和が、防衛の名のもとに
その雲行きがあやしくなっています。
近現代の戦争はすべてが「防衛」の名の
もとにはじまり、犠牲を庶民に押し付けてい
くものです。今こそ戦争遺跡が持つ意義を
私たちはしっかり問い直すときです。ご一
緒に考えましょう。



お詫びと訂正

会報191号の11Pに
「永徳工場で生産された水上機（フロートのある飛行機）を堀川に移動するためのスロープ。」とあるのは庄内川の誤りでした。お詫びして訂正します。



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.192

2026 年
7月 5日

瀬戸市追分町64-1

瀬戸市職労組 事務所

0561-84-4760

fax 84-4767

郵便振替口座番号

00820-9-105120

連絡先

事務局

寺協

0572-23-5899

fax 同上

携帯

090-6575-4370

Eメール

tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとう

ございました！

2026年度
会費およびカンパを頂いた方

瀬戸市 加藤敏晴さん 4000円

高桑茂樹さん 2000円
作道瑞絵さん 2000円

名古屋市 山田富久さん 3000円

豊明市 ゆたか福祉会労働組合 3000円

東京都 東海林次男さん 2000円

2026年7月1日現在 +0-2
会員 156名

2026夏のイベントご案内！

2026

あいち・平和のための戦争展

「政府の行為によって再び
戦争の惨禍が起こることのないやうに」
(日本国憲法前文)

参加 28 団体の展示
もあります。
戦争と平和を考える
貴重なチャンス！

私たちの展示
もあります！

2026年ピースステージ	
市民ギャラリー 第4展示室	東文化小劇場
8/13(木)	8/14(金)
● 11:00～12:00 「志願兵 15歳」 (愛知県平和遺族会) ● 12:30～13:30 「被爆体験」 (愛友会) ● 14:00～15:00 「南京大虐殺と 現代の戦争(仮)」 平山良平さん (ノーモア南京名古屋の会) ● 15:30～16:30 「戦争と宗教(仮)」 大東仁さん (真宗大谷派圓光寺住職)	● 10:30～12:00 「現代版治安維持法 「スパイ防止法を切る」」 西田一廣さん (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟) ● 12:45～14:15 講演「今、世界の理不尽の 根っこ～20世紀、 戦争の歴史の文脈から」 西形久司さん (名古屋空襲研究会) ● 15:00～17:00 講演「『台湾有事』を起こさせ ないために、赤旗北京特派 員が見たこと、聞いたこと」 小林拓也さん(日中友好協会)
8/15(土)	8/16(日)
● 10:30～12:00 講演 平和を願う 「ロシア抵抗の顔」 ヒトロワ・ユーリアさん (ユーラシア協会) ● 12:45～14:25 映画「黒川の女たち」 (「黒川の女たち」上映実行委員会) ● 15:10～17:00 講演 「対米従属・究極の行方」 白井聡さん (アジア・太平洋戦争を 忘れない実行委員会)	● 10:00～12:00 高校生平和発表交流会 &講演 「沖縄戦と在沖米軍基地」 阪井芳貴さん ● 12:45～14:45 講演「憲法の今」 伊藤千尋さん (実行委員会企画)

みなさんの参加をお待ちしています。

※有料企画は、戦争展入場料
以外に500円がかかります

とき

8月13日(木)～16日(日)

10:00～17:00
(入場受付は終了30分前まで)

ところ

市民ギャラリー矢田
(パンテリンドーム北側)(4階受付)
地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車
1番出口を南へ徒歩5分
※会場内で食事できる場所はありません。
ご注意ください

入場料

一般：500円
高校生以下、
障がい者(介助者含む)：無料

至大曽根駅 ナゴヤドーム前矢田駅

市民ギャラリー
矢田(東文化小劇場)

イオン
パンテリンドーム前
ショッピングセンター

パンテリ
ンドーム

ペDESTリアンデッキ

HP
sensoten.net

主催：2026 あいち・平和のための戦争展実行委員会
〒461-0004 名古屋市東区葵1-22-26民主会館4F 電話052-931-0070

ピースフェスティバルin せと 2026 戦争を語り継ぐ会

7月18日(土) 「治安維持法と岩田義道」

お話 吉田保子さん(お父様が義道のいとこ)

8月22日(土) 「満州で徴兵、フィリピンで 死んだ父」

お話 須田雅子さん

いずれも 13:30 分～文化センター12 会議室
で 参加費 300 円 大学生以下無料

昨年までピースフェスティバル in
せと「戦争体験を語り継ぐ会」は体験
者が稀有になってしまい、新たに「戦
争を語り継ぐ会」として再出発します。
今を戦前にしないためにも過去の過ち
をしっかりとらえることが大切だと思
います。一人一人が当事者として参加
されることを願っています。

「海上の森 1945年6月28日(木曜日)」展

B29 降下搭乗兵 11 名が『森』奥深く連行され
斬首に処せられて81年を迎えようとしていま
す。

ここ数年来『森』を訪れる皆さんに『入口駐車
スペース』前にて『斬首』を語り合っています。お
話しできた総数は300人(組)を超えています。

このたび『みんなのギャラリー』に場所を得て
表題名の展示会を開催いたします。

会場: 尾張瀬戸駅 **パルティ瀬戸3階**
みんなのギャラリー

※地下駐車場 1時間無料

会期: 8月8日(土)～16日(日)

👉 展示壁面 高さ2m70cm 巾17m

展示方法 展示物などご提案いただければ幸い
です。ご来場をお待ちいたしております。

鈴木守

☎070-2639-3172

Email psmamoru@gmail.com

鈴木さんは会員で、米兵斬首事件をお一人で取り上げ、「海上の森」の駐車場でパネルや模
型などの展示を行って見えます。大切な問題であり、紹介させていただきました。(寺脇)

「犬山・愛知の戦争遺跡を探る」

今回は「犬山・愛知の戦争遺跡を探る」と題して、「愛知県戦争遺跡調査報告書」の監修、執筆
者で名古屋市見晴台考古資料館 学芸員の伊藤 厚史氏犬山を中心とした愛知の戦争遺跡に
ついてお話しいたします。

日時: 2026年7月21日(火)16:40～18:10(予定)

場所: **名古屋経済大学 71B 教室(7号館1階)**

備考: お車でお越しの場合は、本学体育館側の学生駐車場をご利用ください

※お問い合わせ先: 名古屋経済大学犬山学研究センター(地域連携センター内)大脇・山口・
青木 TEL: 0568-68-3282 Fax: 0568-67-0724

愛知県戦争遺跡調査報告書②

詳細調査を実施した戦争遺跡（20 件）

名称(報告書掲載の表記)	市町村	名称(報告書掲載の表記)	市町村
第三師団司令部	名古屋市	小間町の壕	西尾市
高射砲隊・笠寺陣地	名古屋市	道ヶ木の壕	西尾市
騎兵第三連隊本部	名古屋市	横須賀海軍警備隊 大恩寺山 防空砲台及び第一聴測所	豊川市
相生山緑地の爆弾穴	名古屋市	歩兵第十八連隊兵舎	豊橋市
引込み線の橋梁	春日井市	豊橋陸軍墓地	豊橋市
陸軍清洲飛行場の作戦室	あま市	向山のトーチカ・境界柱	豊橋市
愛知航空機(株) 瀬戸工場	瀬戸市	豊橋陸軍予備士官学校(第十五師団)とその周辺	豊橋市
高射砲隊・名和陣地	東海市	第七十三師団高山戦闘指揮所	豊橋市
河和海軍航空隊基地	美浜町	豊橋海軍航空隊基地の壕	豊橋市
明治海軍航空隊基地	安城市	陸軍第一技術研究所伊良湖試験場	田原市

愛知県は2026年3月付で「愛知県戦争遺跡調査報告書」を残念ながら市販はされていませんが「ネットあいち」で発表しました。瀬戸市内の戦争遺跡として2006年度では6か所記載がありましたが、実在するものとして3か所記載してあります。

水野の地下工場跡地は未指定・未登録の主要戦争遺跡として、詳細調査の対象になり、詳しい調査報告がなされています。以下にその内容を掲載させていただきます。

(寺脇)

※詳細調査の対象は、伊藤厚史氏(名古屋市見晴台考古資料館学芸員、愛知・名古屋戦争に関する資料館アドバイザー)による監修のもとに選定した。

7 愛知航空機(株) 瀬戸工場

所在地 瀬戸市上本町
分類 ■ 軍需工場
現況 瀬戸市民公園

1 経緯・背景

愛知航空機(株)は、愛知時計電機(株)の航空機部門が独立して設立された会社である。

愛知時計電機(株)の航空機生産は、大正9年(1920)、瑞穂工場を航空機製作仮工場としたのが始まりである。翌年には横廠(横須賀海軍工廠)式口型水上偵察機の試作機を完成させた。大正11年(1922)には名古屋市南区千年に航空機生産工場(船方工場)を建設した。昭和3年(1928)から4年にかけて一四式水上偵察機と九四式艦上攻撃機の制式採用により、150機前後の生産を行った。昭和15年(1940)3月5日に海軍管理工場の指定を受けた。昭和18年(1943)3月、愛知時計電機(株)の航空機部門が独立し、愛知航空機(株)となった。

本社は名古屋市港区の永徳工場に置かれ、船方工場など合わせて11の工場があった。永徳工場では、昭和19年(1944)11月には日本の航空機全生産量の6%を生産し、主要量産機種は、九九式艦上爆撃機と艦上爆撃機「彗星」であった。その内訳は昭和19年度(1944)でみると前者が69機、後者が1,023機の生産であった。他に十七試特殊攻撃機「晴嵐」、水上偵察機「瑞雲」も生産されたが、「彗星」に集中して生産された。しかし、昭和19年(1944)12月の東南海地震、20年(1945)1月の三河地震の災害のダメージは大きく、工場は疎開・分散を余儀なくされた。

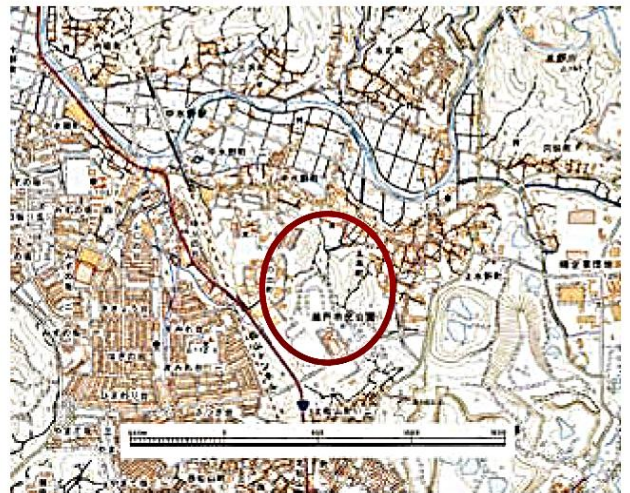


図1 位置図(S=1:40,000)
1:25,000 地形図「瀬戸」平成26年 国土地理院
一部加筆 ○印 愛知航空機(株) 瀬戸工場

2 概要

①概要説明

自然災害のほか、アメリカ軍による空襲被害を避けるため、軍需工場は疎開・分散して建設することとなり、愛知航空機（株）も三河地震後の昭和 20 年 2 月に名古屋市から疎開・分散する計画を立てた。永徳工場は、瀬戸（主翼組立と部品）、大垣（機体組立）、養老（機体部品）、美濃・青塚（津島市）（板金部品）、北陸（福井市）（一般部品）へ疎開・分散された。

これらの工場は、昭和 20 年に陸軍省が示した「工場緊急疎開要綱」及び「地下工場建設指導要領案」により構築され、地上工場、覆土工場、地下工場などさまざまな形態がとられた。

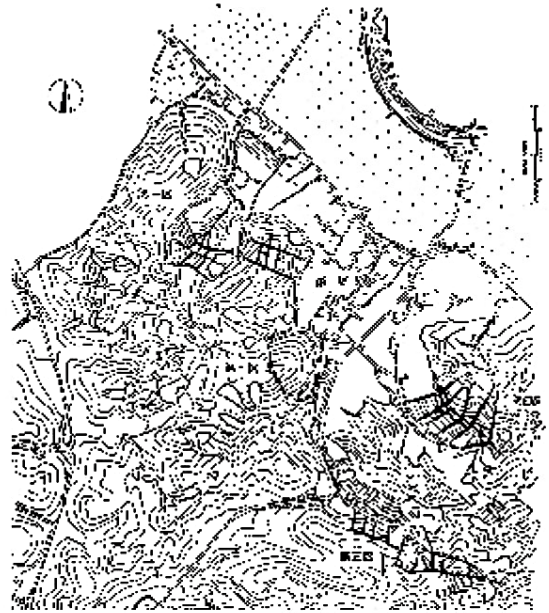


図 2 瀬戸工場零地区平面図
（『証言・資料集 瀬戸地下軍需工場』）

②立地

水野地区の丘陵地に地下工場（零地区）、菱野地区の丘陵谷地に覆土工場（百地区）が築造され、その中間地点にあたる陶磁器工業組合に事務所が置かれた。

③構造

水野地区は、艦上爆撃機「彗星」の翼の部品を製造する計画で、一区から五区までに区分された 5 箇所からなる丘陵地に総延長 3,900m の坑道が掘られた。坑口のアーチ形コンクリート壁厚は 0.27m である。各種耐弾力における鉄筋コンクリートの厚さは、機銃及び砲爆弾の弾片及び爆風に耐える厚さとして、天蓋 0.15m、側壁 0.20 ～ 0.25m と定められていた（『海軍施設系技術官の記録』）。この数値に合致し、前庭部の爆風防の土塁と共に空襲に配慮した坑口構造を有している。

菱野地区は「彗星」の翼の組み立てを行う計画で、15 棟（うち 3 棟は未完成）の覆土工場（半地下式）にかまぼこ型の建物などが建設された。

なお、「地下工場建設指導要領案」（〈参考〉参照）に照らしてみると、要領案の事例と同一形態というものはみられない。

3 戦後の状況

①調査概要

水野中学校郷土研究部は、昭和 59 年（1984）、山中に埋もれていたこの遺跡を調査し、『水野川 No.2』に掲載した。平成元年（1989）10 月 15 日、フィールドワーク調査実行委員会などにより現地調査が行われ、遺跡の重要性が認識された。

平成 2 年（1990）には瀬戸地下軍需工場跡を保存する会が発足した。以来、今日に至るまで遺跡の環境整備、見学会、調査研究、会報や書籍の出版、展示会などに取り組まれている。会の取組は、瀬戸工場だけでなく市内の防空壕跡、慰霊碑、瀬戸窯の統制品や代用品など広範囲にわたり、地方都市が戦争に巻き込まれた実相を明らかにしている。

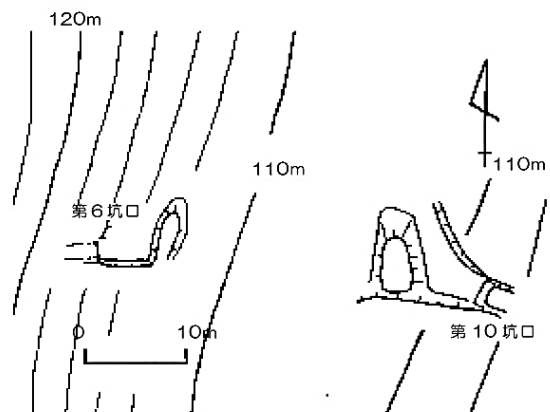


図 3 第一区第 6 坑口・第二区第 10 坑口平面図（S = 1 : 600）
瀬戸市都市計画基本図に加筆 伊藤厚史作図

②遺構の状況

菱野地区は現在、住宅地となっているが、水野地区の第一～第三区の丘陵地は残り、坑道口などが残る。第四、第五区の丘陵地は、陶土採掘などのため丘陵地そのものが失われている。

丘陵に掘られた坑道内部は、埋没しているため不明である。しかし、丘陵上には細長い陥没痕がみられる。坑道が落盤により埋まり、地表面が陥没した痕跡であり、坑道の位置を知ることができる。

丘陵縁に開けられた坑道口は、コンクリート造でアーチ形に補強されているため、現在5箇所が判明している。第一区第7坑口は、断面形が逆U字形で、天井部は幅1mの平天井となっている。最大幅2.3m、高さは現況2.05mである。第二区第10坑口は、断面形が半円アーチ形で、最大幅2.4m、高さは現況で1.9mである。コンクリート壁の厚さは0.27mである。これらの坑口の前庭部には、爆風除けの土塁が鉤の手に築造されている。第6坑口前、第7坑口前の土塁は、前庭部が埋没しているが、第10坑口の土塁は明瞭である。

便所と推定されるコンクリート造の便槽が第一区第7坑口の南と第二区第10坑口の北にそれぞれ1箇所ずつある。第二区の丘陵頂部には、10.6m×9.1m、深さは現況で1.35mのコンクリート造の貯水槽がある。



図4 第一区第7坑口



図5 第二区第10坑口と土塁



図6 第二区貯水槽

4 評価

- ① 瀬戸工場は、艦上爆撃機「彗星」製造の施設として重要視されていたものと思われる。
- ② 水野地区の坑口のアーチ形コンクリート壁厚は0.27mで機銃及び砲爆弾の弾片・爆風に耐える厚さがあることから、前庭部の爆風除けの土塁と共に空襲に配慮した坑口構造を有していることが分かる。
- ③ 「地下工場建設指導要領案」(〈参考〉参照)に照らしてみると、要領案の事例と同一形態というものはみられないため、地形や風向き、土質に応じて工夫して掘削されたものと思われる。
- ④ 坑口のほか、貯水槽、便所遺構など付帯設備も残り、疎開工場の様相を理解する上で貴重である。

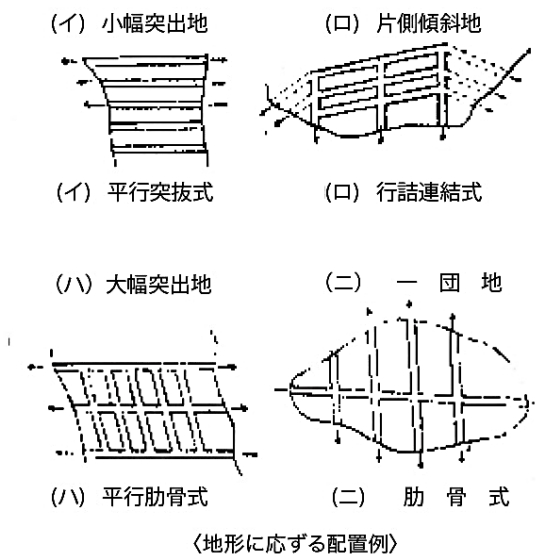
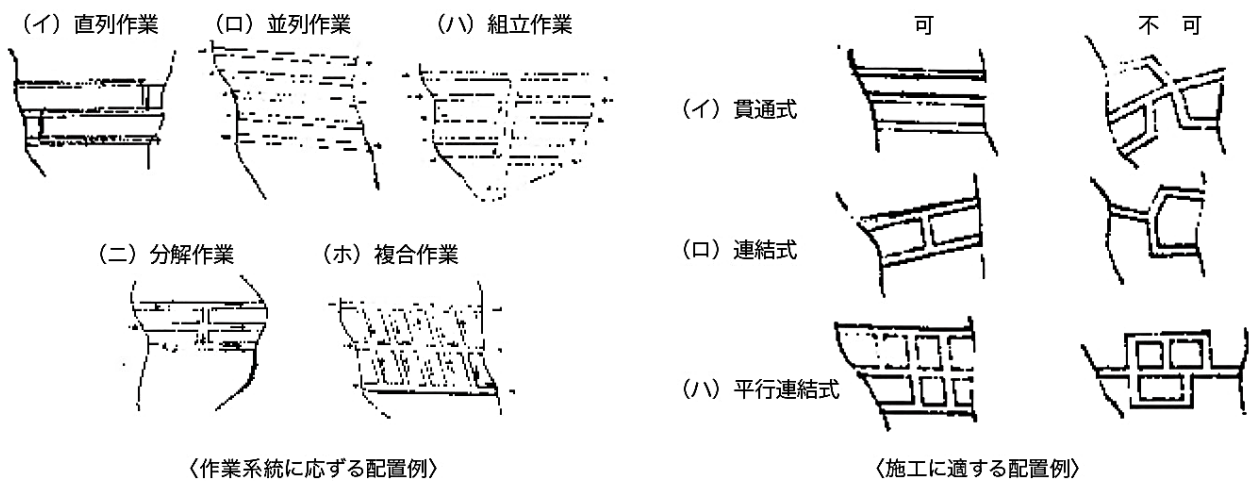
〈参考〉

○ 工場緊急疎開要綱（昭和 20 年（1945）2 月）

軍需工場の疎開・分散の指針を示したもの。計画的、系統的に工場疎開を徹底実施するものとし効果的に分散、地下移設等の方法を講じることとされ、工場疎開は「イ航空機及同部品工場 ロ兵器及同部品工場 ハ重要機械工場」を中心に重点主義が採用された。

○ 地下工場建設指導要領案（技術院・陸軍省）（昭和 20 年（1945）2 月）

陸軍省を担当庁として、海軍省、軍需省、内務省、運輸通信省及び厚生省を協力庁とする戦時研究組織を編成してとりまとめたもの。第 1 篇「立地条件」（第 1 條～第 9 條）、第 2 篇「配置」（第 10 條～第 19 條）はじめ第 1 篇～第 8 篇で構成されている。どのようなことに留意して構築しようとしていたか知ることができ、有益な史料である。



以上

愛知航空機との出会い③

渡辺哲国

「愛知航空機」との出会いに関して、2005年5月航空ジャーナリスト協会発行の「風天ニュース76号」に掲載された内容を紹介します。
(渡辺)

8 元愛航動員学徒 島根県立三刀屋中学 高橋實氏との出会い

前号より

95年秋、会議中に呼び出されて電話に出ると、元愛航動員学徒の高橋と名乗る方で、今日なんとか都合をつけて会って欲しいとのこと。終業後に会ってお話を伺うと、動員中の爆撃で恩師や学友を失われ、追悼録の刊行に取組むので協力を頼むとかなり強引な話ぶりであった。出来ることは協力すると約束したが、亡くなった方への補償を会社に請求できないかなんて冗談とも本気とも思える話も飛び出た。その後、就業中に電話が入り、今名古屋に居るが少し時間があるので昼食を付合っ欲しい。付合うと、一杯付き合っ欲しいと彼の我侔ペースに翻弄されることもたびたびあった。その後三刀屋中の悪ガキ連(ある方がこう名付けた)

に呼び出されたりしたが、強引ではあるが、憎めない面々であった。ある処からの情報によれば、鳥取師範女子部OGの人妻に時間をわきまえずに電話をして困らせたとのこと。

亡き師と亡き友の御霊に捧ぐ記録「痛恨の青春」97年11月刊行(非売品)

9 元愛航動員学徒 福井県立大野中学 高井善弘氏との出会い

94年5月28日(土)、元愛航動員学徒の大野中学OBと金城学院OG合計20名が永徳工場を見学した。(当時、私は熱田工場勤務で、この情報を知らず後日に知った)この中高井善弘氏は同年10月に、名古屋「飛行機雲の空」学徒勤労動員の思い出を自費出版され永徳工場に寄贈された。彼がこれを綴ったのは、当時1万人近く居た勤労動員学徒の中で「福井県大野中学のようにやってほしい」と言われた彼等の足跡をなんらかの形で残して置きたかったからである。「飛行機雲の空」を読んだ私は、文中に晴嵐のフロートは1本との記述があったので、事実を伝えるべく彼に参考資料や写真を送った。早速に高井氏から電話が入り、いろいろお話しているうちに、なんとなくウマが合うような感じがしてきた。何度か電話でお話しているうちに彼は「飛行機雲の空」の誤記や間違

いを訂正すべく、続編「愛知航空機物語り」を手作りするので協力を頼みたい、一度、大野に遊びに来ないかとの話になった。これが高井さんとの御付き合いの始まりとなり、現在も年に数回大野詣でを行い、鮎、大吟醸、山菜、鹿肉・熊肉などを食卓に並べ、彼との愉快的懇親を図っている。

「愛知航空機物語り」98年3月完成(非売品)

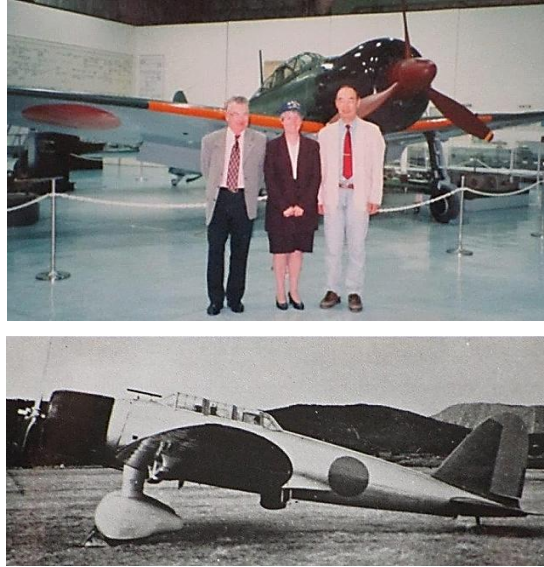
10 元三菱重工業(株)水島航空機製作所養成工(水航第二期会)伊藤忠夫氏との出会い

95年春、愛知時計電機(株)総務部より、下関市の伊藤忠夫氏と連絡をとって欲しいとの話があり電話連絡をした。彼は三菱重工業(株)水島航空機製作所に養成工二期生で入社し、戦後に山口大学工学部に入學、現在は工業高校にて教鞭をとっているとのこと。大学の恩師・故小池富男教授は戦前に愛知航空機技術部研究第一課に勤務し水槽係係長として浮舟や艇体の研究開発を担当。大学の教え子が小池教授の追悼文集を作るので、二式練習飛行艇や晴嵐の浮舟に関する資料を入手したいとのことであった。

追悼文集「冬北斗Ⅱ」95年12月完成

伊藤氏との交流はその後も続き、晴嵐浮舟の青焼線図のトレースをして頂き、NASM/PEGFに提供することができた。一度、下関に遊びに来ないかと誘われ、01年8月に訪問を果し、名所旧跡を案内して頂き、夜は関門海峡を見下ろしながら一献傾けた。

11 英国人作家 Peter C. Smith 氏との 出会い



97年春、英国よりエアメールが届いた。差出人は Peter C. Smith、ロンドン作家協会会員で航空、海洋、軍事、関係のノンフィクション作家、相当なヒョーキ気違いらしく急降下爆撃機や攻撃機などの著作物も出している。文面は愛知の九九艦爆の本を出したいので支援を望

むとの内容であった。敵性言語・英語は苦手なので躊躇したが、「少しは世のため人のため」、「乗りかかった船」とばかり、手持ちの本や資料を航空便にて送った。なんと、翌年春、ピーター夫妻は来日し九九艦爆や艦爆隊関係者と面接し、その足で来名、我が家にも寄ることになった。妻の Pat と我が家に来た Peter は九九艦爆の資料を見る傍ら、夫婦で英国に遊びに来ないかと誘い、Pat も妻を勧誘し出した。同年夏、我々二人は大韓航空にお世話になり、ヒースロー空港で Peter の出迎えを受け、スミ家家のホームゲストとなった。昼は観光と航空博物館巡り(無論ガイド付き)、夜は夕食後に拙い英語で九九艦爆資料の翻訳など昼夜日英親睦に努めた。

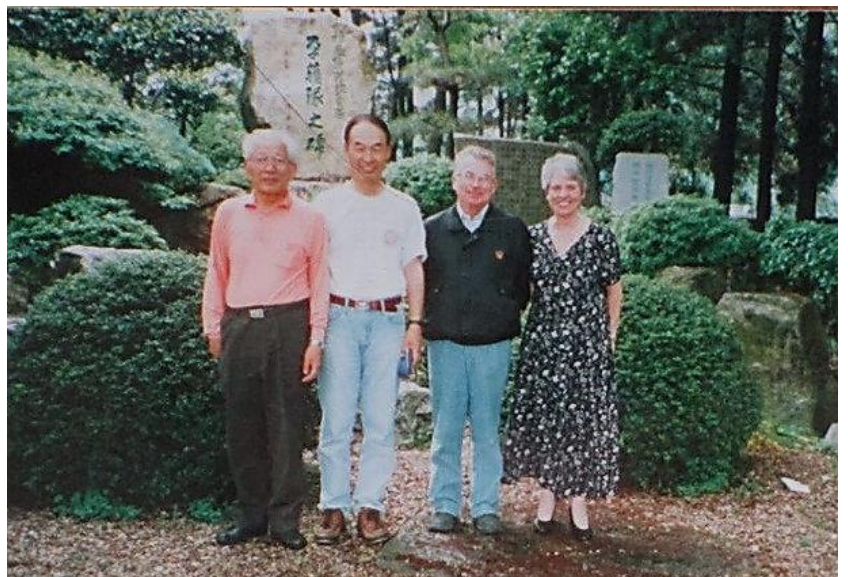
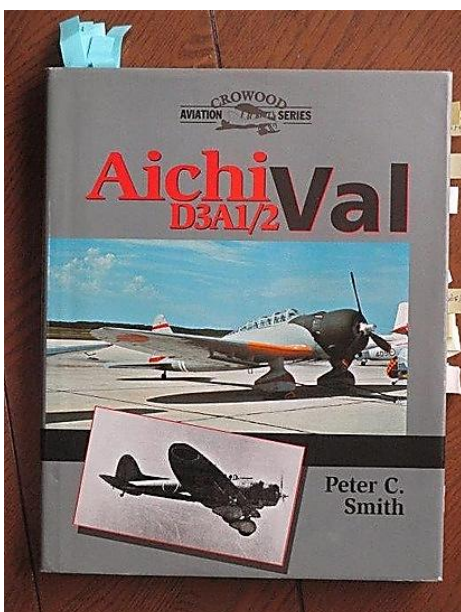
CROWOOD AVIATION SERIES

[Aichi D3A1/2 Val] 99年5月刊行

今年は戦後60年目の節目、私はもうすぐ62才、50代は愛知航空機の遺産に遊んでもらい大いに楽しむことができた。60代の新たな楽しみを模索中であるが、取り敢えず原点に戻り、模型飛行機を楽しみながら、次なる出会いを捜してみる。

(わたなべ・てつくに)

以上



岐阜県の秘匿飛行場と本土決戦準備

～郷土の戦争遺跡を探る～

岐阜県立関高校・地域研究部の研究成果報告会



6月14日(土) みのかも文化の森(岐阜県美濃加茂市)で県立関高校地域研究部の報告会「加茂野にあった秘匿飛行場」が開催され60名を超える参加で、高校生たちの誠実でレベルの高い報告に大いに感動しました。この部活動は考古学や郷土史の現地調査からまちづくり提言まで幅広い探究活動を行っており、日本考古学協会での優秀賞受賞など高い評価を受けています。その報告の一端を紹介し、帰りに会場でお会いした方と現地に行つて実際の秘匿飛行場跡を見てきたの紹介します。(寺脇)



2021年より関飛行場の調査を開始し調査結果として①関飛行場滑走路の位置を確定したこと②本巣飛行場の調査に着手③大垣飛行場の所在地を確定したそうです。



- ・最終防衛ラインの奥地、瑞浪、恵那、中津川方面に名古屋造兵器工場群の疎開を進めた
- ・長野の松代大本営の楯としてこの地の防備を固めていたのではないかと
- ・降伏が長引けば、岐阜県でも凄惨な特攻作戦や地上戦が展開された可能性あり



東海軍管区司令官 岡田資中將
[写真提供: 関市史] 関市史

特攻や地上戦は遠い南海のみの出来事ではなく、**ふるさと岐阜でも起こり得た**

秘匿飛行場は1943年以降米軍の空襲に備え飛行機を分散・秘匿するために作られたもの。全国に40ヶ所あまり作られ岐阜県には4ヶ所ある。各務ヶ原大安寺の地下壕や奈良県二上山の地下壕との関連も考えられるという指摘もあります

関秘匿飛行場跡

報告会の後、現地を知る方に案内していただいて「暗渠」「司令部地下壕跡」を見学しました。下の写真は滑走路を西の方向に見たところ。畑が直線状に続いています。暗渠が50mほど直交しています。



滑走路跡はカナクズ山の北側にあり、南側にはマウンテンバイクの練習場の中に、ひっそりと地下壕があります。この地下壕は内部にコンクリートで補強された部分があり、各務ヶ原大安寺の地下壕のつくりに似ています。なお、周囲には20か所の地下壕が確認されているということです。下の写真は地域研究部の報告にあった映像で測量をしているようすです。私たちはこの日はランプを持っていなかったため奥には入りませんでした。(寺脇)

- ・入口から中間まで素掘り
- ・中間から奥壁にかけてコンクリートで補強
- ・天井面には金釘が打ち込まれている
→電線引き込み用?



暗渠

- 内径 約95cm
- 一本の長さ: 平均99cm
- 当時の全長: 約65m
- 現在の全長: 約71.7m
- ・鉄筋コンクリート製のヒューム管が74本連なる
- ・戦後に滑走路南方向に延長



暗渠内部の様子



地下壕の内部から
入り口付近をみた



内部にはコンクリート
の補強部分がある

空襲死亡者名簿より判明した祖父の死

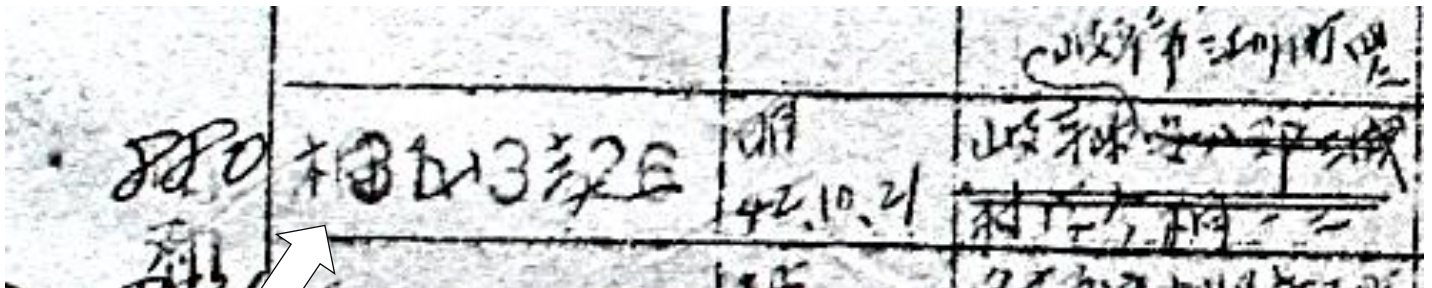
本年5月ピースあいちの金子さんより「アメリカ在住の方より、戦時中消息不明になった祖父のことで問い合わせがあった。名簿で調べてくれないか」と電話が入りました。さつそくその場でエクセルに入力してある名簿で検索をかけました。問い合わせのあったお名前は「桐山孝一」。桐山で検索すると「桐山勝」という方の名前がヒットしました。どうしても「桐山孝一」という名前の方は見つからないので、電話口の金子さんに見つからない旨、電話を切りました。

その後、気になった私は、苗字の桐山でなく、名前の「孝一」で検索したところ、数名の方がヒットしました。その中に

「相山孝一」という名前が気になって、原簿の映像を確認したところ下の図のように名前の上に「31 3 26」のスタンプが押してあり、ちょうど「相」の字であろう上に3の文字が押されており釈然としません。それでその名簿の映像をご本人に確認してもらおうと、金子さんに送りました。そして金子さんの方から、ご依頼の方に確かめてもらったところ、生年月日や本籍地などから祖父の「桐山孝一」さんであることが判明したというわけです。

エクセルの名簿には現在、3764名分のお名前がありますが、これからも消息不明の方が判明できることを願っています。

寺脇



画像からは「相」と見えるが実際は「桐」

生年月日と本籍地の情報から、ご本人と判明しました。

20.6.9	名古屋市中区	爆	死	20.6.9	名古屋市中区
0940	4年町番15			0940	4年町番15

負傷した日付、死亡した日付はいずれも「20. 6. 9」で0940で、昭和20年6月9日9時40分、場所は「名古屋市中区千代舟方15」で愛知時計電機。

81年の時を超えて真実を伝える3つのメール

寺脇様

6月に入って、スタンフォード大学フーバー研究所の上田薫さんから返信がありました。桐山孝一さんで間違いがなかったようです。お母さんの父、祖父にあたる方だそうです。

寺脇さんたちが熱田空襲の死亡者名の追跡をされていたお陰で、不明家族の追跡ができました。

今年の東海交流会での報告よろしく願いいたします。

金子 力

金子様

ご連絡ありがとうございます。

母に岐阜の住所と生年月日を確認し、祖父と一致しましたので「桐山孝一」で間違いがないと思います。

母も父のことを今でも調べてくださる方がいらっしゃると、非常に感謝しており、良い供養になったと言っております。

爆撃で、恐らくすぐに死亡したようで、苦しまなかったことが幸いでした。

本当にありがとうございました。

上田薫

母、上田（旧姓桐山）和子

寺脇様

ピースあいちの金子様を通して、祖父、桐山孝一の熱田空襲での記録を見つけていただきました、上田薫です。ハンコなどで読みづらくなっていますが、生年月日と住所がすべて一致しました。

90歳になる母にも伝え、今でも父親（母にとって）のことを調べてくださる方がいらっしゃると感謝しておりました。

当時10歳だった母は父の遺体も遺品もないことから、どこかで生きていて帰ってくるのでは？と思っていたそうです。今回、このような名簿を探していただいたことで、良い供養になったと言っております。

病気のため出征しなかった祖父でしたが、内地での空襲に遭い、結局戦中に死亡してしまいました。国家総動員法の解除日が死亡日だという、当然な事実ですが、終戦日でないことにも憤りを感じました。

個人的な感謝の念だけでなく、戦争アーカイブスとして100年以上活動をしているスタンフォード大学フーバーアーカイブスで仕事をする職業上の立場としても、皆様の活動は重要だと思います。

今後ともご活躍を期待しております。

上田薫, Ph.D.

Curator of the Japanese Diaspora Collection and Hoji Shinbun Digital Collection
and Research Fellow

Hoover Institution Library & Archives

Stanford University

写真で観る晴嵐 28 号機修復の全貌 第 25 話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

塗装、組立、

1999年、PEGF#10棟（修復棟）は慌しくなった。晴嵐の各コンポーネントが続々と完成し、塗装ブースに送り込まれ、昭和20年当時の塗装が行われた。無論、全面単一塗装ではなく、オリジナル塗装を後世に残すことと、長期保存を可能にするための塗装である。

浮舟、脚柱は塗装が終わり、結合関係部品も準備完了し、主翼への組付けスタンバイとなった。スタンドに保持された主翼には木製の翼端部やエルロン、親子式フラップが組付けられた後、脚柱の組付けトライが行われ、水中舵操縦系統などの確認が行われスタンバイOKとなった。尾部翼には方向舵と昇降舵が組付けられ操縦系統の配索と調整が行われた。

次号へつづく

写真提供：NASM&Matthew Nazzaro 氏&
Thomas S Momiyama 氏



①下塗りの終わったスピナーを磨くマットさん



②マスキング中のボブさん



③関係者で鳩首凝議



④ブース内で記念に一枚



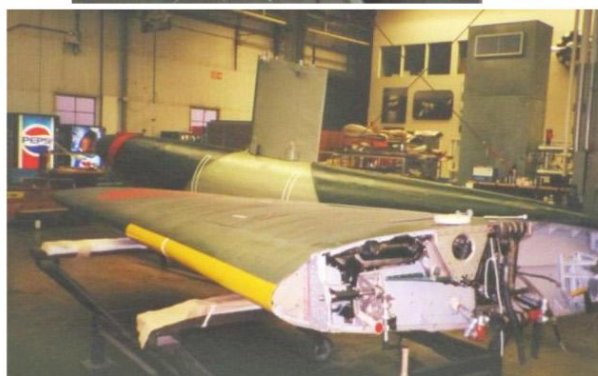
⑤仕上塗装が終わり、マスキングが外された胴体



⑥胴体後部と尾部翼、白線は偏流測定線



⑦塗装中の浮舟と脚柱、赤帯（プロペラ危険防止）、白帯（台車受け位置）が入る



⑧組付けを待つ右翼と浮舟



⑨主翼と脚柱の結合トライ、後縁部に親子フラップが下がっている



⑩方向舵と昇降舵の取付を待つ胴体



⑪方向舵と昇降舵の組付けが終了し、尾部翼の展張を行った胴体



⑫総組立準備中



右は聖霊の福山先生



雨中の現地見学

今年も6月第3土曜日に、聖霊中学校の土曜セミナーで現地見学会を行いました。水野地域交流センターで学習会を行った後、本格的な梅雨の中、中学1年のY・Mさんがお父さんと元気に熱心に見学していました。頼もしい限りです。(寺脇)

ピースフェスティバル in せと 2026

- ・「戦争を語り継ぐ会」はP3に
- ・ピースステージ 「銀河鉄道の夜」
7月18日(土) 18:30、19日(日) 10:30,
14:30 大人2500円 高校生以下
1500円 瀬戸蔵つばきホール
- ・「平和を願いみんなでつくる美術展」
7月18日(土)・19日(日)
瀬戸市文化センター
文化交流館ギャラリー

みんな
来てね!

インフォメーション

お休みします。次号に掲載

- ・191号より掲載予定だった
「愛知航空機 動員学徒の手記」
「聖霊高校生 原水禁世界大会
参加報告」
「紙芝居 こどものころ戦争が
あった」
は今回は紙面の都合により次
号以降に掲載します。

編集後記



81年目の暑い夏がやってきます。しかし平和が危ういのは例年以上。現在の日本のようすや、過去の日本のようすを「あいち平和のための戦争展」では28もの団体による展示や東文化小劇場では講演会や高校生たちの発表など多彩なイベントで学ぶことができます。

瀬戸でもピースステージや美術展、戦争を語り継ぐ会など多くの催し物が予定されています。ぜひいろんな活動を通して一緒に、平和について考えてみませんか

2026年7月5日 (T)